

## 第 1 回モニター会議の振り返りについて

### 1 第 1 回会議・議論テーマ

「SNS を活用した議会情報の効果と課題について」

### 2 テーマ設定の理由

令和 3 年度活性化計画の施策のひとつである「情報提供と説明の充実」について、具体的取組事項に掲げた「SNS による情報発信の検証と見直し」に向けて、外部の意見・提案を踏まえ今後の取り進め方を検討するため。

### 3 グループのまとめ（別紙）

### 4 分析項目

① 「積極的に議会の情報を公開し、議会の認知度の向上を図る」という目的に現行の SNS が役割を果たしているか？

② SNS の利用は、年代によって活用状況に差があるが、関心の高いツールは何か？強化すべきツールは何か？見直すべきツールは何か？

【参考】令和 3 年度版情報通信白書（総務省）

20～50 代は 90～75% が利用している、60 代以降は 60% 以下に留まる。

③ 行政とは違う視点で、住民意見を「政策」に反映する手法となっているか？今後、強化すべき、見直すべき、継続すべき事項は何か？

④ 年齢に応じたきめ細やかな情報発信となっているか？

⑤ 情報を発信する手段（人員、業務能力、業務負担）に課題はないか？

### 5 対応策・取組事項・今後の展開

### 6 今後のスケジュール

- ・ 11 月 22 日（月） 分析の共通認識（第 18 回議会運営委員会）
- ・ 11 月下旬～12 月上旬 全議員の共通認識（第 7 回全員協議会）
- ・ 12 月中旬 モニターへの返信、第 2 回会議要領案内
- ・ 令和 4 年 1 月中旬 第 2 回モニター会議  
（第 1 回会議の「まとめ」を冒頭で報告）

# 意見交換会・会議名：モニター会議 (Aグループ)

■開催年月日： 令和3年 10月 29日 (金)

■開催場所： オンライン

■出席議員： 鈴木・柴田・橋本・中田

■参加者： 伊藤裕哉さん・中西香代子さん・新妻功晟さん

(合計：7人)

■記録者名： 中田

質問	ポイント	SNS を活用した議会情報の効果と課題
現状の確認	議会のSNS知っている？	<ul style="list-style-type: none"> <li>知らない。議会だよりのみ読んでいる。</li> <li>知らない。議会だよりをパラパラ見る程度。</li> <li>知らない。知る機会もない。関心もわからない。</li> </ul>
	議会の関心事は何？	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金がどのように使われているのか、お金の流れに興味がある。</li> <li>子どもに関すること。議会だよりは知っている議員の写真を見る程度。</li> <li>議会だよりは見ている。自分たちに関係ないことだと思って見ている。お金の使い方も信用している。</li> </ul>
課題の抽出	関心の高いツールは何か？	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に（議会に）興味がない。</li> <li>インターネットで議会だよりを見た感想は、国に対して意見書も出すのだと思った。関心ごとがEスポーツなど現代風でなければ、若い年代には興味を感じられない。</li> <li>Facebook からの情報を得る機会が多い。</li> <li>4歳くらい年下の人と話したら、Facebook はおばさんしか見ないと言われた。若い人はインスタ。</li> <li>フォローし情報を得ようと思わなければそもそも見られない。議会だよりの方が、全員に義務的に配られるため、目にする機会が多いと思う。</li> <li>議会だよりは強制的に配られてくる。SNS はアンテナを張って自分で見たいと思って登録しなければ見られない。議会が面白いってならなければ見ない。</li> </ul>
解決策	議会だよりの改善点は？	<ul style="list-style-type: none"> <li>町長提案があって議会で決める一連のやりとり流れなど聞きたい。1枚ものの漫画風だとわかりやすい。</li> <li>(10月号の) お金の使い方と芽室町と同じ人口規模の町との比較があると良い。子育てに使われる予算を見て、この町が優遇されているなど比較が出来る。住み続けたい町であるとの実感が出る。</li> <li>情報を知らなくても生きていけるのでそもそも見ない。初めて見る人にもわかるように初めに（ホームページにあるような）議会とはなど、毎回説明があるとわかりやすいと思う。</li> </ul>
	これからの	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画になってくるのでは。文字ではなくフリップを</li> </ul>

	時代に求められるものは？	<p>活用して動画で説明する。但し、自分で見ようと思わなければ YouTube ですら見ない。内容が大切。堅苦しく発表しないで丸く表現。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会のことを知っている若い人が、自分と関わりのある人に伝えていくことが一番早いと思う。ツイッターのフォロワーだと1万人とか。そうでなければ検索にひっかからない。</li> </ul>
	録画中継を見たことは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人とも見たことない。</li> </ul>
		フリートーク
	モニターになった思いや、感じていることなど自由に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のお金の使い方に興味があったし、議員と話す機会を得られて良かった。</li> </ul> <p>町の新嵐山改革が活発で頑張っている。友人からもキャンプやドッグランなど評価が高い。アウトドアブームに思いきり乗って芽室町にこんなに楽しいところ一杯あるよとアピールしても良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会のことを知る良い機会になった。</li> </ul> <p>神奈川から芽室に引っ越してきて、一度もホームシックにならず住み続けている。近所の方にも良くして頂いている。何か町の役にたてて、町のことを知る機会になればと思っている。</p> <p>実家の藤沢市では中学生まで医療費が無料だから戻っておいで、と言われたことがある。当時、芽室は幼稚園児までだった。長女が小学校に入学する時に、小学生まで無料になり、芽室町いいぞ、まだまだ帰らないぞと。皆に自慢したい、子育てしやすい町です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを通して自分の知らない分野の方々を見て、仲良くなり、もっと町のことを知り、良くしていきたいと思った。だからモニター会議にも参加した。</li> </ul>
	選挙に行きますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人とも行く。(行った)</li> </ul>

## 意見交換会・会議名：第一回モニター会議 **Bグループ**

---

■開催年月日： 3年 10月 29日

■開催場所： オンライン

■出席議員： 渡辺洋一郎 広瀬重雄 梶澤幸治 黒田栄継

■参加者： 小川モニター 福田モニター 広瀬モニター 松田モニター  
(合計：8人)

■記録者名： 黒田栄継

---

### SNS を活用した議会情報の効果と課題について

現状はやはり、議会だよりから議会についての情報を入手しているとの意見が多数。一部FBでの情報発信、存在を知っている方もいました。

モニターから出された意見としては、過去に議会のFBを知った経緯として、アンケートへの回答をするための入り口としての運用があったことなどから、双方向のツールとしての運用を積極的に進めることで、利用者を増やす取り組みを多くするなどがあげられました。

ほかのモニターからも、一方的な情報の発信だけでなく、町民の意見を届ける場として活用できるようになれば、利用者も増えるのではないかと指摘もありました。

これに対して、議員からは、SNSを運用し始めた目的（情報公開と住民参加の促進）について説明があり、最終的には、意見を聴取する場としての活用を目指しているという経緯なども併せて説明されました。ただ、議会という特性上、寄せられた意見に対して即答していくということが難しいこと、町のSNSなどとは、運用目的が異なることなども互いに共有されました。

そのような中でも、最終的な「意見の聴取」という目的を果たすためにも、運用方法を工夫し、議会内での議論の議題にするであるとか、スピード感はなくとも、より直接的な町民の声を反映させるツールとするなど、より効果的な活用を進めていくことが重要だと議論がなされました。

さらに別な視点としては、やはり、発信する内容も重要であり、現在の議会活動の速報的なものだけにとどまらず、町民が興味をもっていることを的確にとらえた内容を発信していくことが重要との意見もいただいた。加えて、より分かりやすい表現による発信にも配慮すべきとのいけんもいただいた。

フリートークでは、現在興味のある事業についてモニターそれぞれに問いかけたところ、学校の校則について、GIGA スクールの幅の広い活用、放課後デイサービス、嵐山や公園などの子供の遊び場の充実など、多岐にわたる意見をいただいた。

# 令和3年度 第一回モニター会議 2021.10.29 1830～

C班 議員：常通・西尾・立川・堀切

モニター：飯島さん・堀江さん・福中さん

テーマ「SNSを活用した議会情報の効果と課題について」

## 1・現状の確認

○議会のSNS知ってる？～

- ・議会FB等知ってはいるが見るのは時々。
- ・FBはフォローしているが、ツイッターはしていない。
- ・議会だよりは毎月目を通してしている。
- ・モニター各自FB等SNSは活用している。
- ・議会のSNS（FB・LIN）は情報量も多く内容に偏りがあるように思う。⇒お知らせがメインという感じがする。

※議会中継は見たことがない。

○議会の関心事は？～

- ・知り合いの議員がいると関心を持てる。
- ・普段から話をする同年代の議員だと、話しやすく、議会の事も教えてもらっている。
- ・議会だよりで情報を得ている。最近では、定数や報酬についての議論に関心がある。  
⇒経費はどこから出ているのか？活動量とみあっているのか？多くの町民も関心を持った方が良く感じている。

- ・今年の3月に芽室町に来たばかりで、どんな議員がいるのかわからない。各議員のバックグラウンドを知らないので知りたい。
- ・以前住んでいた町議会は、SNSでの発信は全くなかったので閉ざされた感じだったので芽室町議会は凄いと思っている。

※議会単独のHPを持っているのは十勝では芽室町議会のみ？

## 2・課題の抽出

○SNSの課題は？

- ・最近までは関心がなかったが、議会の存在の大切さに気付いた。
- ・情報の発信はしているけど、受信する町民の受け取り方はどうなんだろう？
- ・芽室町はもともとイベントが好きな町だと思うのでイベント等で行動し、周知することも必要。フェイス to フェイスは大事。
- ・SNSの発信は難しさがある。所属する団体でも受信する側が「何を知りたいか？」「何を発信したらよいか？」わからない時もあり悩む。
- ・そもそもLINEで友達にもなろうとしないし、FBのいいね！を押さない。  
⇒そのハードルは高い。
- ・普段から関心がない人に知ってもらうには、見た目のインパクトで面白さを出す。中吊り広告風の議会だよりとか。

## 3・解決策

○SNSの工夫？これからの時代に求められるもの

- ・ 議会改革度ランキング等の報道は新聞で見たことはある。積み重ねが大事  
急に方針を変えない、大改革はしないで小さな改革をしていったらよい  
と思う。
- ・ 多くの人に知ってもらい、見てもらい、関心を持ってもらう事が大事。  
まずは、見てもらわないと意味がない。
- ・ ユーチューブの発信は見やすいかも。
- ・ ユーチューブの配信・中継は良いと思う。端末を気にしないで見れるので
- ・ 議員個々が何に関心があるのかわかるようになれば議会にも関心が持てるかも。

## 意見交換会・会議名：第1回芽室町議会モニター会議

- 開催年月日：令和3年10月29日（金）
- 開催場所：役場3F 委員会室
- 出席議員：正村紀美子（進行）・寺町 平一・早苗 豊・中村 和宏
- 参加者：秋葉 秀明さん・大塚 玲奈さん・榑 聖さん  
沢崎 洋一さん・高田 昌樹さん・深井 潤さん（10名）
- 記録者名：中村 和宏

### 【D班・リアルグループ】

#### 意見交換内容

テーマ 「SNS を活用した議会情報の効果と課題について」

Q 議会 SNS を見たことはある/ない？

➡半数のモニターさんがフェイスブックは見たことがあるとの回答。

Q 議会の情報はどこから入手？

➡多くが「議会だより」から入手しており、知り合いの議員から情報を入手との回答もあり。また、気になることは自分で検索している。

Q 議会について知りたいことは？

- ・気にかけていること。
  - ・予算のこと。
  - ・決算審査の不認定など、話題になることも多いが、議会の立ち位置がわからない。
- ➡議会は何をするところなのか。どんなことをしているのかわからないという意見もあった。・・・（現状はない）

Q 年齢に応じた情報発信ができていますか？

➡年齢による格差はあると思うが、興味関心の問題である。

Q 議会を知ってもらおうという目的は果たしている？他のツールがふさわしい？

- ・紙媒体を情報入手の手段としているので、疑問に思っていることが解決できれば良い。
  - ・年代による。紙ベースによる安心感がある。
  - ・実際に見て聞く。気軽に議会に足を運べる環境づくり。
- ➡議会情報を発信し、知ってもらおう議会 SNS の目的を考えればかなり乖離している。（紙媒体）



Q：課題、問題点、SNSの活用の視点？

- フェイスブックの開示について、堅苦しいイメージが拭えない。
- 関わりやすい環境づくり。
- 自分が知りたい情報、興味があるものであれば自分で検索。
- 結論が見えるタイトルづけ。
- 目につく発信（業務、人、負担）について、さらにお金をかけてという必要はない。
- 見やすさを重視。
  - ➡ 議会のことが気になっていないので、SNSは活用しないとの声もあった。ただ、議会が何を知ってもらいたいのか。議会の流れなどが分かれば興味がわくかも、という意見。議会のことが気になっていない。気になっ  
てもらおうための情報発信が必要。